

2019年4月5日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

トヨタファイナンス株式会社のグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、トヨタファイナンス株式会社が発行するグリーンボンド⁽¹⁾（5年債 600億円）の引受けにおいて事務主幹事およびGreen Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

トヨタ自動車株式会社は2015年10月「トヨタ環境チャレンジ2050」を公表し、クルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取組みの一つとして電動車の普及に取り組んでいます。また、トヨタファイナンス株式会社はトヨタグループの一員としてグリーンボンド発行により調達された資金を、環境負荷の低い電動車（ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・燃料電池自動車）のトヨタ販売店向け融資およびクレジット資金に充当することにより販売店向けの安定的な資金供給を通じて電動車の普及に金融面から貢献していく見込みです。

本件グリーンボンドは適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として株式会社格付投資情報センター（R&I）より「R&I グリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の評価を取得しております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG⁽³⁾投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債	券	名	： トヨタファイナンス株式会社第 88 回無担保社債(社債間 限定同等特約付)(グリーンボンド)	
取	得	格	付	： AA+ (R&I)、Aa3 (ムーディーズ)、AA- (S&P)
年			限	： 5 年 (2024 年 4 月 19 日償還)
発	行	額	： 600 億円	
利		率	： 0.080% /年	
払	込	期	日	： 2019 年 4 月 19 日
主	幹	事	： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、 大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、 野村証券株式会社、東海東京証券株式会社	
Green Bond			： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社	
Structuring Agent				

- (1) 本件グリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものであり、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドパーティオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者
- (3) 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉

以上